

第10部

安全・安心



第1章 交通事故・火災・救急

- 186 救急出場状況
- 188 火災の発生状況
- 189 自然災害による被害状況
- 190 交通事故の発生状況



第2章 犯罪・少年非行

- 191 刑法犯の認知件数と検挙率
- 192 特殊詐欺被害状況
- 193 ストーカー、配偶者からの暴力事案等の認知件数
- 194 少年非行と少年の福祉を害する犯罪の現状





救急出場状況

救急出場件数は前年比6.1%増の74,027件



2021 (R3) 年の救急出場件数は、前年に比べ4,245件 (6.1%) 増加し、74,027件となりました。

2021 (R3) 年の救急出場件数を事故種別にみると、前年と比べて急病が2,534件増加し46,963件、交通事故が136件増加し4,648件となりました。

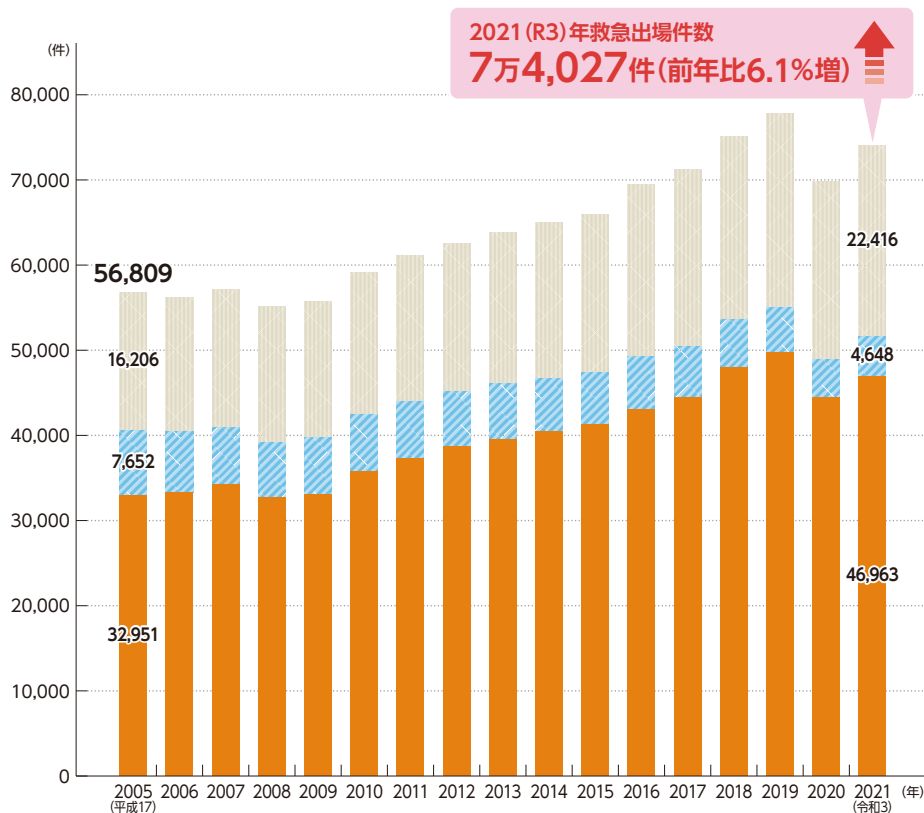
また、急病が2021 (R3) 年の救急出場件数全体の63.4%を占めています。

救急出場件数を2005 (H17) 年の56,809件と比べると、17,218件 (30.3%) 増加しています。

救急出場件数の推移

資料：県消防救急課「消防年報」

■ 急病 ■ 交通事故 ■ その他

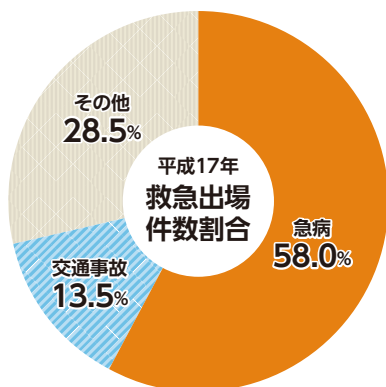




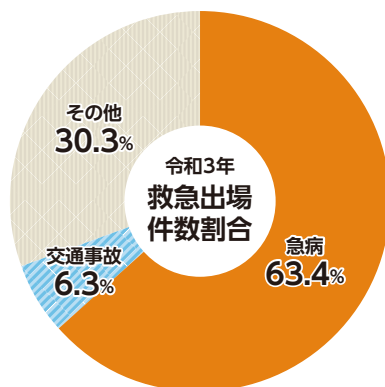
2005 (H17) 年・2021 (R3) 年の救急出場件数割合

資料：県消防救急課「消防年報」

■2005 (H17) 年の救急出場件数割合



■2021 (R3) 年の救急出場件数割合



※四捨五入の関係で端数において一致しない場合がある。



火災の発生状況

出火件数、損害額は前年に比べ減少したが、死傷者数は増加



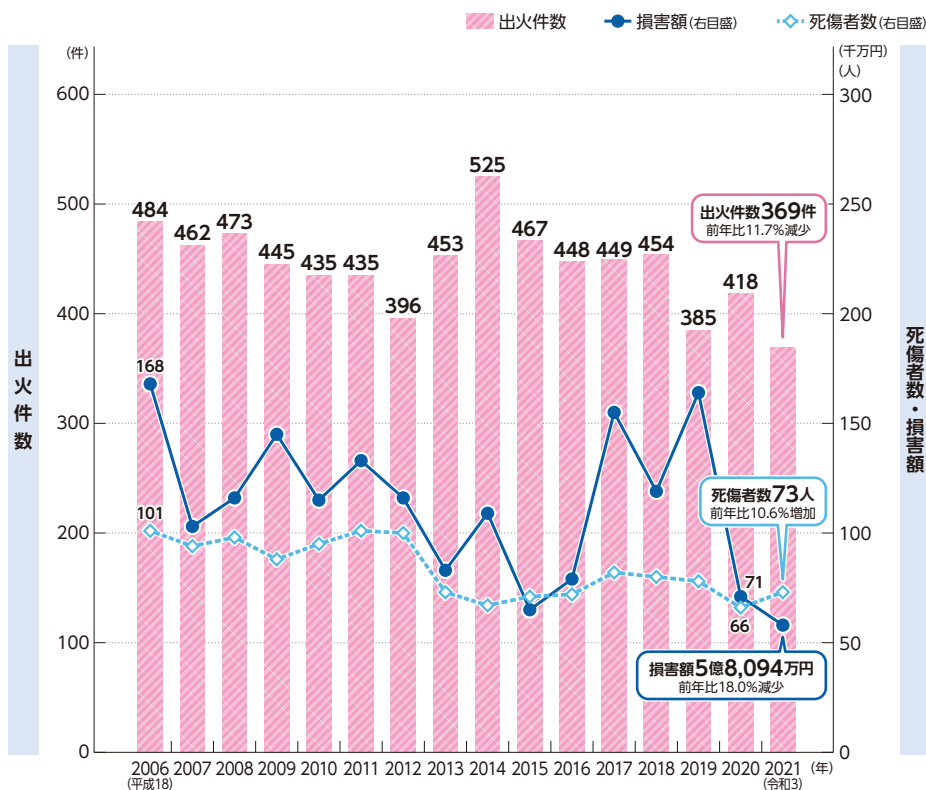
2021(R3)年の出火件数は369件、火災による死傷者数は73人、損害額は5億8,094万円となりました。

2021(R3)年の火災発生状況は、前年に比べ、出火件数は49件(11.7%)減少の369件、死傷者数は7人(10.6%)増加の73人、損害額は1億2,711万円(18.0%)減少の5億8,094万円となりました。

また、2006(H18)年と比べると、出火件数は484件から115件(23.8%)の減少、死傷者数は101人から28人(27.7%)の減少、損害額は16億8,250万円から11億157万円(65.5%)の減少となっています。

火災発生状況の推移

資料：県消防救急課「消防年報」





自然災害による被害状況

2022(R4)年度の自然災害による人的被害は、1人

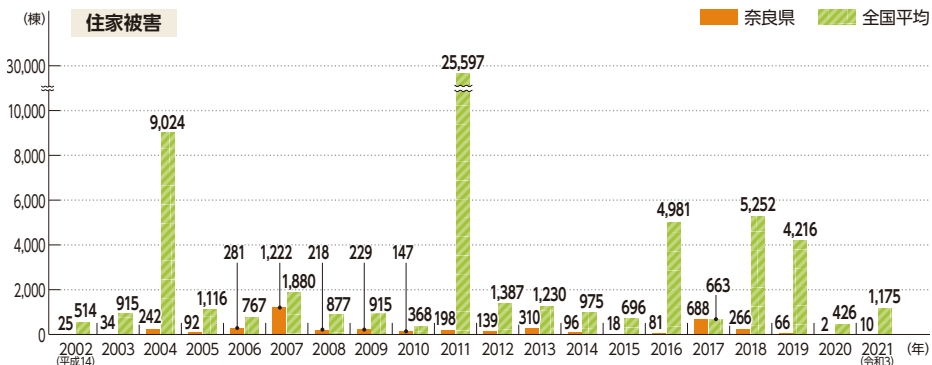
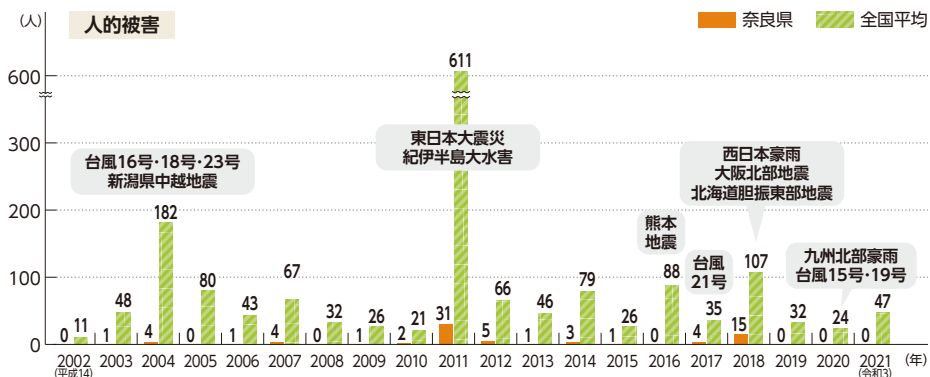
2019(R1)～2021(R3)の過去3年間の住家被害は78棟(うち床上及び床下浸水64棟)で、1,939棟(全国平均の3か年平均)を下回っています。

2011(H23)年の紀伊半島大水害、2017(H29)年の台風21号、2018(H30)年の西日本豪雨など大きな風水害のあった年は、県内でも人的被害及び住家被害が多くなっています。

- **自然災害**…暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑り、その他の異常な自然現象をいう。
- **人的被害(人)**…死者、行方不明者、負傷者(重傷・軽傷)の計。2021(R4)の数値については、県防災統括室が公表済みの値を掲載。
- **住家被害(棟)**…全壊、半壊、一部損壊および浸水(床上・床下)の計。

自然災害による被害の推移 2002(H14)～2021(R3)年(20年間)

資料：国土交通省「災害統計」





交通事故の発生状況

交通事故（人身事故）の発生件数、負傷者数、死者数
全てが減少

2022(R4)年中の交通事故(人身事故)は、発生件数2,603件、負傷者数3,092人、死者数29人でした。

前年に比べ、発生件数は334件(▲11.4%)、負傷者数は464人(▲13.0%)、死者数は10人(▲25.6%)、それぞれ減少しています。

なお、死者数29人のうち、65歳以上の高齢者が14人と48.3%を占めるものの、全国平均(56.4%)を下回っています。

交通事故(人身事故)発生状況の推移

資料：県警察本部交通企画課「交通年鑑」

